

中国ブロック隣保館連絡協議会女性職員研修会  
第16回全国女性職員研修会  
鳥取県隣保館連絡協議会第3回職員研修会

## 開催要綱



中国ブロック隣保館連絡協議会  
全国隣保館連絡協議会

研修テーマ  
地域共生社会の実現を隣保館から  
～ つながりをきずく隣保館職員をめざして ～

1 趣旨・目的

- (1) 隣保館で働く女性職員の資質を高め、隣保事業の充実と活性化を図るため、各地域の取り組みを報告し交流を深めるとともに、各隣保館の実践につなげよう。
- (2) 隣保館がこれまで取り組んできた相談事業のさらなる発展をめざし、様々な社会資源とのつながりを積極的に進めていこう。
- (3) 人権課題は、地域生活課題であるという視点を持ち、人権三法の趣旨をふまえた福祉と人権のまちづくりを展開していこう。

2 主催

中国ブロック隣保館連絡協議会・全国隣保館連絡協議会

3 共催

鳥取県隣保館連絡協議会

4 開催期日

2018（平成30）年10月4日（木）～5日（金）

5 研修会場（4日：全体会／5日：分科会）

【全体会、分科会】

◎「パレットとっとり市民交流ホール」／鳥取市弥生町323-1

【分科会】

◎「鳥取本通商店街振興組合」／鳥取市栄町401 本通りビル4F

◎「カフェソースバンケット」／鳥取市栄町401 本通りビル3F

◎「鳥取環境大学まちなかキャンパス」／鳥取市末広温泉町160 日交本通りビル3F

【情報交換会】

◎「地場産プラザ わったいな」／鳥取市賀露町西3丁目323

6 参加対象者

- ・隣保館女性職員（隣保館運営審議会委員等の隣保館関係職員を含む）
- ・隣保館と連携する関係女性職員（児童館・教育集会所等関係施設）
- ・府縣市町関係職員
- ・各ブロック協・府県隣協役員・事務局
- ・広域隣保事業を実施している府県、市町村関係職員
- ・隣保事業士及び隣保事業士資格認定講習を受講したいと考えている方

7 開催日程と内容

10/4 (木) 【第1日目】		10/5 (金) 【第2日目】	
午前中	(各自で昼食) ◎分科会運営打合せ会議 (12:30~13:00) →分科会関係者 (司会・報告・助言・会場責任者)	9:00	(分科会 受付開始)
		9:15	⑤ 分科会 (180分) ※4分科会を設定
			講義
			実践報告
		12:15	分科会終了・閉会 参加者アンケート回収
13:15	(受付開始)		
13:45	① 開会行事 (30分) *主催者、来賓あいさつ		(参加者、各自で昼食)
14:15	② 行政説明 (40分) 演題：(仮称)「地域共生社会の実現に向けた隣保館の役割」 講師：厚生労働省地域福祉課 (依頼予定)	13:30	⑥ フィールドワーク (事前申込制：定員 25名)
		16:00	(終了、解散)
14:55	(休憩 20分)		
15:15	③ シンポジウム (120分) テーマ：「地域共生社会の実現に向けて隣保館職員に期待すること」  コーディネーター 鳥取県社会福祉協議会 福祉人材部長 朝倉 香織  パネラー 鳥取県 (依頼中) 全国隣保館連絡協議会 常任理事 山本 さなえ 鳥取県隣保館連絡協議会 会長 川口 寿弘 鳥取市地域食堂ネットワーク 共同代表 山根 恒 マスコミ関係者 (依頼中)	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">地域共生社会とは</p> <p>制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに作っていく社会 (厚生労働省HP掲載資料より抜粋)</p>	
17:15	(終了：事務連絡)		
18:30	④ 情報交換会 (120分) *会場移動 (マイクロバス) (地場産プラザ わったいな)		
20:30	(終了、マイクロ移動)		

\*③シンポジウム、⑤分科会の概要は、p.5、  
⑥フィールドワークの詳細は、p.10 をご参照  
ください。

## 8 参加申込み（参加資料代・情報交換会・宿泊）について

(1) 研修会への参加費は次のとおりです。

- 参加資料代 3,000円
- 情報交換会参加費 5,000円
- 斡旋する施設の宿泊費 6,500円～9,500円（1泊朝食付き）

(2) 申込方法

① 参加者は、「参加申込書」(p.8) に必須事項をご記入の上、**8月24日(金)までに各府県隣協事務局へ**お申込みください。また、参加費等の納入については、各府県隣協事務局の指示に従ってください。

※分科会は、会場の収容人員がありますので、希望者が集中した場合は、第2希望の分科会に変更・調整させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

② 各府県隣協事務局は、参加者名簿を取りまとめ「参加集約申込書」(p.9) を**8月31日(金)までに「株式会社日ノ丸観光トラベル」と「中国ブロック隣保館連絡協議会事務局」へFAXまたは郵送**で提出してください。

また、府県隣協事務局組織のないところの参加者についても、「参加申込書」を8月31日(金)までに「株式会社日ノ丸観光トラベル」と「中国ブロック隣保館連絡協議会事務局」へFAXまたは郵送で提出してください。

株式会社日ノ丸観光トラベル 本社営業所（担当：池田） TEL0857-22-4004 FAX0857-22-0527 〒680-0921 鳥取市古海 620 (月～金) 9:30～17:30 (土) 9:30～17:00 (日・祝日) 休業
---

③ 宿泊をお申込みの方で、貸切バスでお越しの場合、バス乗務員宿泊の有無をお知らせください。必要な場合は申込書の備考欄にその旨ご記入してください。

④ 申込書内容に基づいて、請求書等ご案内を9月中旬頃に発送いたします。内容をご確認の上、ご入金願います。

⑤ 上記参加表作成に伴う個人情報情報は、研修会参加者用名簿作成のみに使用し、本研修会以外の目的で使用することはありません。

(3) 変更・取消について

申込み後の変更・取消が生じた場合、参加者は速やかに各府県隣協事務局へご連絡をお願いします。（各府県隣協事務局は、その旨を「株式会社日ノ丸観光トラベル」と「中国ブロック隣保館連絡協議会事務局」に**書面にて**連絡してください。）

取消に伴う返金は、研修会終了後とさせていただきます。また、返金手数料はお客様負担となりますので予めご了承ください。

参加費（資料代、情報交換会費、宿泊費）は事務局に代わり株式会社日ノ丸観光トラベル本社営業部が代行収受するものです。

取消日	取消料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって14日前に 当たる日以降に解除する場合	無料
旅行開始日の7日前までに解除する場合	10%
旅行開始日の前日に解除する場合	20%
当日の解除	80%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	100%

#### (4) 宿泊について

◆宿泊日 2018年10月4日(木)

◆宿泊料金 (シングル1泊朝食付、税金・サービス料込)

◆宿泊の手続きは当日フロントでお客様ご自身でお願いいたします。

◆個人勘定及びこれに伴うサービス料・諸税は各自ご精算願います。

◆宿泊施設名・申込記号・料金等

申込記号	ホテル名	タイプ	宿泊料金	駐車場
A	鳥取シティホテル	シングル	7,000円	ホテル駐車場500円
B	ホテルレッシュ鳥取駅前	シングル	6,500円	近隣契約駐車場有料
C	ホテルモナーク鳥取	シングル	9,500円	ホテル駐車場無料
D	ホテルニューオータニ鳥取	シングル	8,000円	ホテル駐車場無料

①申込書には、ご希望のホテルの申込記号をご記入ください。前・後泊希望がある場合は、申込書備考欄にご記入ください。

②宿泊はお申込み順にて手配させていただきます。(※必ず第2希望までご記入ください。)客室には限りがあり満室となった場合、他のホテルへ変更をお願いすることもございますので、ご協力のほどお願い申し上げます。禁煙・喫煙ルームともお部屋に限りがございます。ご希望に添えない場合もございますので、予めご了承ください。

#### 9 その他

(1) この研修は、隣保事業士資格認定講習受講要件となる研修会です。

(2) 特別な事情がない限り、全日程ご参加することを原則とします。

(3) 鳥取駅から会場までと会場から斡旋する宿泊施設までは徒歩で移動可能な範囲です。(徒歩10分圏内)

(4) 情報交換会会場までは、マイクロバスをご用意いたしております。詳細は当日の事務連絡でお伝えします。

#### 10 問い合わせ

中国ブロック隣保館連絡協議会 事務局

〒680-0823 鳥取市幸町151 鳥取市中央人権福祉センター内

TEL (0857) 24-8241 FAX (0857) 24-8067

E-mail : koide.shinichi@city.tottori.lg.jp

## 《シンポジウムの概要》

「地域共生社会」実現の構想は、まさに隣保館がこれまで、人に寄り添い、人と人や人と資源をつなぎ、差別や排除のない地域づくりをすすめてきた『福祉と人権のまちづくり』そのものです。

本シンポジウムでは、「地域共生社会」の実現に向けた取り組みにおいて隣保館職員として、どのような関係機関や資源との“つながり”が必要であるか、行政、民間、マスコミなど様々な視点から具体的に語り合ってください。

## 《分科会の概要》

講 義 隣保館活動入門		
第1分科会	全隣協 常任顧問 中尾 由喜雄	隣保館の社会的使命や役割、隣保館職員としての心構えについて、共通理解を深めよう。 (新任職員・未受講者対象)
実践報告 地域共生社会の実現に向けた隣保館の活動事例について		
第2分科会	広島県／竹原市 竹原市人権センター	あるひとりの高齢者のいきざまから、社会的援護、援助の重要性に気づかされました。また、生活相談の必要性を改めて考えさせられた出会いについて報告します。
	鳥取県／大山町 中山ふれあいセンター	隣保館に相談に来る人は、年齢も性別も国籍も様々。出会ってから13年経った今でも相談を受けている外国人女性のエピソードや相談事例を挙げながら、人とのつながりや見えてきた課題などについて報告します。
第3分科会	島根県／雲南市 雲南市人権センター	人権・同和問題解決の拠点施設並びに地域に密着した社会福祉施設である隣保館が、障がいのある人を対象としたデイサービス事業を展開することにより「人権と福祉のまちづくり」を目指すコーディネーター役として、地域でどのようなネットワークを構築できるかを考えます。
	鳥取県／倉吉市 はばたき人権文化センター	少子高齢化の進む中、お年寄りの拠り所としてサロンを開始し、丸6年経過。児童センターと併設館であるセンターで、このサロンを核にして多世代交流と町づくりの拠点とし、住民の声を聴く地域食堂へ。
第4分科会	三重県／津市 白山市民会館	町内の小中学校・保育園・幼稚園を年度初めに訪問し、課題の早期発見、早期解消に取り組んでいる中、ひとり親家庭等の子どもたちの居場所がなく、生活困窮者が多く、家庭も地域から孤立している状況があります。隣保館と学校が連携して立ち上げた「夏休みキッズ学習支援事業」について報告します。
	鳥取県／鳥取市 中央人権福祉センター	家族関係が断ち切れ、子どもへのネグレクト状態にもある世帯への支援。各機関が実態を把握しながらも具体的な支援に結びつかなかったケースにおいて、人権福祉センターが推進役となり関係機関との連携の再構築や、地域の社会資源とのつながりにより“支援”が動き始めた現在進行形の取り組みです。

研修会場・宿泊施案内図

A 鳥取シティホテル



情報交換会会場案内図





隣保館用

中国ブロック隣保館連絡協議会女性職員研修、第16回全国女性職員研修会 参加申込書

[ 新規 ・ 追加 ・ 変更 ・ 取消 ] ← いづれかに○を付けてください。

※旅行手配のために必要な範囲内での宿泊施設等への個人情報の提供について同意のうえ申し込みます。

県名		隣保館名・所属等						記入担当者			
		所在地／書類送付先									
TEL		FAX			E-mail						
NO	フリガナ 名前	性別		10/4	10/5 分科会 1~4		10/4	10/4 宿泊			備考欄／要望等をご記入ください
				資料代	第1希望	第2希望	情報交換会	第1希望	第2希望	禁煙・喫煙	
例	トットリ ハナコ 鳥取 花子	男	女	○	2	4	○	B	A	禁煙	
1		男	女								
2		男	女								
3		男	女								
4		男	女								
5		男	女								
6		男	女								

◆ご記入について◆

- ・禁煙、喫煙ルームともお部屋数に限りがございます。全てご希望に添えない場合がございますので、予めご了承ください。
- ・人数が足りない場合はコピーの上ご利用ください。

◎隣保館 → 府県隣協事務局 申込期限 2018年8月24日(金)

※隣協事務局組織がない県は、直接、株式会社日ノ丸観光トラベル／中国ブロック隣保館連絡協議会事務局へお申込みください【8月31日(金)】

中国ブロック隣保館連絡協議会女性職員研修、第16回全国女性職員研修会 参加集約申込書

[ 新規 ・ 追加 ・ 変更 ・ 取消 ] ← いづれかに○を付けてください。

※旅行手配のために必要な範囲内での宿泊施設等への個人情報の提供について同意のうえ申し込みます。

県名	協議会名								記入担当者			
	所在地／書類送付先											
TEL			FAX					E-mail				
NO	市町村 隣保館名	フリガナ 名 前	性別		10/4	10/5 分科会 1～4		10/4	10/4 宿泊			備考欄／要望等をご記入ください
					資料代	第1希望	第2希望	情報交換会	第1希望	第2希望	禁煙・喫煙	
例		トットリ ハナコ 鳥取 花子	男	女	○	2	4	○	B	A	禁煙	
1			男	女								
2			男	女								
3			男	女								
4			男	女								
5			男	女								
6			男	女								

◆ご記入について◆

- ・禁煙、喫煙ルームともお部屋数に限りがございます。全てご希望に添えない場合がございますので、予めご了承ください。
- ・人数が足りない場合はコピーの上ご利用ください。
- ・個別に領収書が必要な場合は、宛名と送付先を備考欄に記入してください。

# フィールドワーク



## ○概要

市街地の近郊と郊外の二か所の人権福祉センターでのフィールドワークです。

### ①近郊

- ・江戸期から由緒ある「首切り地蔵」を見守り維持し続ける地域の歴史
- ・地域のぬくもりと繋がりが立ち上げた「支え愛活動」による地域福祉の取り組み

### ②郊外

- ・幕末から明治・大正期の史料に基づく田畑所有状況や公会堂建設に関わる歴史
- ・差別事件を契機に始まった保護者の教育活動から繋がる現在の「こども食堂」の状況

## ○定員

25名（申込先着順、定員になり次第受付終了）

## ○参加費

2,000円（交通費、資料代 税込）

## ○集合・解散

JR鳥取駅南口（集合13:30 解散16:00）

## ○フィールドワーク申込方法

①名前、②所属、③連絡先（郵便番号、住所、電話、FAX、メールアドレス）を下記送付先にFAX、またはE-mailにてご連絡ください。なお、請求書の必要な方は、請求書の宛名を併せてご記入ください。

## ○申込・連絡先

中国ブロック隣保館連絡協議会 事務局

〒680-0823 鳥取市幸町151 鳥取市中央人権福祉センター内

TEL (0857) 24-8241 FAX (0857) 24-8067

E-mail : koide.shinichi@city.tottori.lg.jp

## ◆留意事項

- ※ 定員に限りがあります。お申込みは、府県隣協事務局を通さず、直接、中国ブロック隣保館連絡協議会事務局へお申し込みください。また、複数名で申込希望の場合は、お一人ずつお申し込みください。なお、最後まで参加できる方に限ります。
- ※ 研修会参加費とは別にフィールドワーク参加費が必要です。
- ※ バスでの利用となるため、交通状況により、スケジュールが若干変更することもございますので、ご了承ください。
- ※ 参加の可否は受付後、1週間以内にご連絡いたします。期間内に連絡がない場合は事務局へお問い合わせください。詳しいスケジュール、参加費の集金方法等の案内は後日別途ご連絡いたします。